

## 日本土壤微生物学会 2008 年度大会のお知らせ

日時：2008 年 6 月 13 日（金）	10 時～11 時 12 分	一般講演（口頭発表 I）
	11 時 12 分～12 時 30 分	一般講演（ポスター発表コアタイム）
	14 時～17 時 30 分	学会シンポジウム
	17 時 30 分～19 時	懇親会
14 日（土）	10 時～12 時	市民公開シンポジウム
	13 時～14 時	総会
	14 時～15 時	日本農学会賞受賞特別講演
	15 時～16 時 15 分	一般講演（口頭発表 II）

場所：静岡大学 大学会館（〒422-8529 静岡市駿河区大谷 836 静岡大学 <http://www.shizuoka.ac.jp/>）

JR 静岡駅北口のしずてつジャストラインバス 1 3 番乗り場（松坂屋百貨店東隣、エクセルワート静岡ビル前）から「大谷行き」または「静岡大学行き」に乗車し、「静岡大学」停留所で下車。所用時間約 25 分。片道 280 円。バス 1 3 番乗り場へは、静岡駅からは北口の地下道を通して、松坂屋百貨店地下入り口の右脇地下通路から。

### 学会シンポジウム（大会参加者対象）

「環境細菌の機能解析 ―ポストゲノム時代を見据えて―」

特別講演 ゲノムから見えてきた細菌の生存戦略：中澤 晶子（山口大学）

シンポジウム講演

1. PCB 分解菌の全ゲノム解明と環境に応答した遺伝子発現の網羅的解析：福田 雅夫（長岡技術科学大学）
2. ゲノム情報に基づいた植物共生細菌の環境応答と物質循環機能の解明：南澤 究（東北大学大学院）
3. 多重染色体性の *Burkholderia multivorans* のゲノム構造と土壌でのゲノム情報発現：津田 雅孝（東北大学大学院）

### 日本農学会賞受賞特別講演

「リゾクトニア属菌の分類に関する研究」

生越 明（北海道大学名誉教授）

### 公開シンポジウム（一般市民の方対象）

「植物の健全な生育と微生物」

1. 本当は、植物は病気にかからない：露無 慎二（静岡大学）
2. 植物はなぜ光るか―その原因と利用：加藤 公彦（静岡県農林技術研究所）

### 大会参加申込

氏名、所属、正会員・学生会員・非会員の別、懇親会参加の有無について、土壤微生物学会静岡大会事務局（[shizuoka08@yahoo.co.jp](mailto:shizuoka08@yahoo.co.jp)）宛てに E メールにてご連絡下さい。特に懇親会に参加をご希望される方は、人数の把握のため、必ず 6 月 5 日（木）までにお申し込みください。

### 大会参加費（要旨集を含む） 学会当日、受付にてお支払い下さい。

会員 5,000 円、非会員 6,000 円、学生 3,000 円（会員、非会員とも）

懇親会費 5,000 円、学生 3,000 円（会員、非会員とも）\*学生料金の適用には学生証の提示が必要です。

### 宿泊 JR 静岡駅周辺で便利なホテルとして下記のようなホテルがあります。各自でご予約下さい。

ホテルアソシア静岡（TEL: 054-254-4141）静岡駅北口より徒歩 1 分

ホテルセンチュリー静岡（TEL: 054-284-0111）静岡駅南口より徒歩 1 分

静鉄ホテルプレジオ（TEL: 054-252-2040）静岡大学へのバス乗り場（13 番乗り場）前

静岡グランドホテル中島屋（TEL: 054-253-1151）バス乗り場比較的近く

### 大会事務局

〒422-8529 静岡市駿河区大谷 836 静岡大学農学部 環境微生物学研究室 メール：[shizuoka08@yahoo.co.jp](mailto:shizuoka08@yahoo.co.jp)

大会の最新情報は土壤微生物学会ホームページにてお知らせします。<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jssm/>

託児サービスをご希望の方は 5 月 7 日（水）までに、大会事務局にご連絡ください。

## 日本土壤微生物学会 2008 年度大会プログラム

6月13日(金)

### 一般講演(口頭発表 I)

- 10:00-10:12 O-1 マルチプレックス PCR 法による日本産青枯病菌の Phylotype の識別  
○堀田光生<sup>1</sup>・土屋健一<sup>2</sup>(<sup>1</sup>農環研、<sup>2</sup>九州大院農)
- 10:12-10:24 O-2 土壤微生物群集を鳥瞰する—16S rRNA 遺伝子の進化距離の主成分分析に基づく菌群のマッピング—  
○浅川晋・渡邊健史・木村真人(名古屋大院生命農)
- 10:24-10:36 O-3 土壤から抽出した eDNA を用いた、トマト萎凋病菌レースの識別法  
○吉岡千津<sup>1</sup>・平野泰志<sup>2</sup>・對馬誠也<sup>3</sup>・斎藤雅典<sup>3</sup>・寺岡徹<sup>4</sup>・有江力<sup>4</sup>(<sup>1</sup>東京農工大院農、<sup>2</sup>埼玉農総研、<sup>3</sup>農環研、<sup>4</sup>東京農工大院共生科学)
- 10:36-10:48 O-4 定量的 T-RFLP 解析法による畑地土壤微生物の多様性評価  
○西澤智康<sup>1</sup>・小松崎将一<sup>1</sup>・金子信博<sup>2</sup>・太田寛行<sup>1</sup>(<sup>1</sup>茨城大農、<sup>2</sup>横浜国大院環境情報)
- 10:48-11:00 O-5 *Pseudomonas* 属細菌由来 IncP-7 群分解プラスミドのモデル環境中における挙動の解析  
新谷政己、松井一泰、山根久和、○野尻秀昭(東大生物工学セ)
- 11:00-11:12 O-6 油汚染土のバイオレメディエーションに関する微生物学的検討  
○千野裕之<sup>1</sup>・安達舞<sup>2</sup>・李哲揆<sup>2</sup>・犬伏和之<sup>2</sup>(<sup>1</sup>大林組、<sup>2</sup>千葉大)

### ポスター発表コアタイム

11:12-12:30 (ポスターは大会期間中掲示されます)

### 学会シンポジウム「環境細菌の機能解析 —ポストゲノム時代を見据えて—」

- 14:00-14:50 特別講演 ゲノムから見えてきた細菌の生存戦略  
中澤 晶子(山口大学)
- 14:50-15:00 休憩
- 15:00-15:50 PCB 分解菌の全ゲノム解明と環境に应答した遺伝子発現の網羅的解析  
福田 雅夫(長岡技術科学大学)
- 15:50-16:40 ゲノム情報に基づいた植物共生細菌の環境応答と物質循環機能の解明  
南澤 究(東北大学大学院)
- 16:40-17:30 多重染色体性の *Burkholderia multivorans* のゲノム構造と土壌でのゲノム情報発現  
津田 雅孝(東北大学大学院)
- 17:30-19:00 懇親会

6月14日(土)

### 公開シンポジウム「植物の健全な生育と微生物」

- 10:00-10:10 学会挨拶
- 10:10-11:00 本当は、植物は病気にかからない  
露無 慎二(静岡大学)
- 11:00-11:10 休憩
- 11:10-12:00 植物はなぜ光るか—その原因と利用  
加藤 公彦(静岡県農林技術研究所)
- 12:10-13:00 評議員会
- 13:00-14:00 総会

### 日本農学会賞受賞特別講演

- 14:00-14:50 「リゾクトニア属菌の分類に関する研究」  
生越 明(北海道大学名誉教授)
- 14:50-15:00 休憩

### 一般講演(口頭発表 II)

- 15:00-15:12 O-7 原生生物の捕食圧を制御した環境下での外来微生物(大腸菌)の動態

- 橋本知義<sup>1</sup>・橋爪沙耶香<sup>2</sup>・染谷孝<sup>2</sup> (<sup>1</sup>九州沖縄農研、<sup>2</sup>佐賀大農)
- 15:12-15:24 O-8 ナシ剪定枝コンポストによる白紋羽病菌抑制作用の微生物学的研究  
○宍戸雅宏<sup>1</sup>・横山秀美<sup>1</sup>・須田瓦<sup>1</sup>・牛尾進吾<sup>2</sup> (<sup>1</sup>千葉大院、<sup>2</sup>千葉県農総研セ)
- 15:24-15:36 O-9 栽培レタス根由来 DSE のレタス根内定着の経時的観察  
藤井久美子・神谷敏広・○久我ゆかり (信州大農)
- 15:36-15:48 O-10 好氣的脱窒菌単離株の亜酸化窒素還元の特徴  
○横山和平・安次富枝里子・本田理・湯村正典 (山口大農)
- 15:48-16:00 O-11 トマト内生細菌 *Herbaspirillum huttiensis* KSR01 の組織内における定着位置の解析  
○奈良吉主<sup>1</sup>・加藤孝太郎<sup>1</sup>・田渕浩康<sup>1</sup>・河原崎秀志<sup>1</sup>・有江力<sup>2</sup>・寺岡徹<sup>2</sup>・木嶋利男<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>微生物応用技術研究所、<sup>2</sup>東京農工大)
- 16:00-16:12 O-12 三宅島 2000 年噴火堆積物の初成土壌形成と細菌生態系  
○藤村玲子<sup>1</sup>・佐藤嘉則<sup>1</sup>・長澤俊樹<sup>1</sup>・細川研<sup>1</sup>・西澤智康<sup>1</sup>・難波謙二<sup>2</sup>・加藤拓<sup>3</sup>・片山葉子<sup>4</sup>・上條隆志<sup>5</sup>・東照雄<sup>5</sup>・太田寛行<sup>1</sup> (<sup>1</sup>茨城大農、<sup>2</sup>福島大共生システム理工、<sup>3</sup>茨城県農総セ、<sup>4</sup>東京農工大農、<sup>5</sup>筑波大院生命環境)
- 16:12-16:15 閉会

**ポスター発表演題：**ポスターは大会期間中掲示されます (コアタイム 6 月 13 日 11:12-12:30)  
(P-1~38)

- Possible mechanism involved in the suppression of tomato bacterial wilt by lysine amendment  
○Marylene Posas・Koki Toyota (東京農工大 BASE)
- Effect of lysine combine with biocontrol agent on suppressiveness to soil borne pathogens  
○Yanetri Asi Nion・Koki Toyota (東京農工大 BASE)
- マメ科植物根粒組織内において共生特異的に生成する芳香族アミン  
○藤原伸介<sup>1,2</sup>・安藤拓哉<sup>2</sup>・澤田寛子<sup>1</sup> (<sup>1</sup>中央農研、<sup>2</sup>筑波大)
- 土地利用や堆肥・農薬投与、芳香族化合物添加の有無が異なる各種土壌におけるジオキシングナーゼ遺伝子の多様性 —有用遺伝子資源としての土壌の有効活用に向けて—  
川浦慶<sup>1,2</sup>・大塚重人<sup>1</sup>・西山雅也<sup>1,3</sup>・○妹尾啓史<sup>1</sup> (<sup>1</sup>東京大院農、<sup>2</sup>現・石油資源開発 (株)、<sup>3</sup>現・長崎大環境科学)
- 植物生育促進菌類(PGPF)のマメ科モデル植物ミヤコグサに対する生育促進効果  
○増中章<sup>1</sup>・百町満朗<sup>2</sup>・竹中重仁<sup>1</sup> (<sup>1</sup>北農研セ、<sup>2</sup>岐阜大応生)
- 水田土壌における土壌改良剤が土壌微生物に与える影響  
○古山雅智・大西純一 (埼玉大理工)
- 土壌のヨウ素吸着能と土壌中ラッカーゼ活性の相関性  
○及川純一<sup>1</sup>・村松康行<sup>2</sup>・坂本一憲<sup>1</sup>・天知誠吾<sup>1</sup> (<sup>1</sup>千葉大園芸、<sup>2</sup>学習院大理)
- 前作物及び根粒菌接種がダイスの窒素・リン栄養と根粒形成に与える影響  
○岡紀邦・建部雅子・岡崎圭毅・岡本美輪 (北農研)
- 水田表面水に生息する細菌群集の死滅へのファージの寄与率推定  
○中山奈津子・浅川晋・木村真人 (名古屋大院生命農)
- メタン生成古細菌の安定した群集構造の形成過程の追跡—畑土壌を用いた湛水培養実験による分子生態学的解析  
○渡邊健史・木村真人・浅川晋 (名古屋大院生命農)
- Establishment of Bioplorer use for Rapid Counting of Bacteria Cells in Soil and its Application for the Comparing of Bacteria Population Growth in Old and Renewal Grass Farm Soil  
○Dhanapati Neupaney・Watanabe Masaki・Hiroshi Futsuta・Maki Kimura・Shunsuke Yachida ((株) アレフ・分析センター)
- 静菌率の異なる土壌におけるハウレンソウ萎凋病菌の接種圧と発病との関係  
○松本卓生・田中慶昌・古賀成司 (エーザイ生科研 (株))
- 土壌の静菌率と *B. subtilis* との関係  
松本卓生・○田中慶昌・古賀成司 (エーザイ生科研 (株))
- 不耕起栽培土壌における糸状菌多様性の評価  
○昭日格図<sup>1,2</sup>・西沢智康<sup>1</sup>・佐藤嘉則<sup>1</sup>・小松崎将一<sup>1</sup>・太田寛行<sup>1</sup> (<sup>1</sup>茨城大農、<sup>2</sup>東京農工大連農)

15. 原生動物が水田土壌のメタン酸化に及ぼす影響  
○村瀬潤・Peter Frenzel (名古屋大院生命農、MPI)
16. Survey of major capsid genes (g23) of T4-type bacteriophages in Japanese paddy field soils  
○王光華<sup>1</sup>・林元樹<sup>2</sup>・齋藤雅人<sup>3</sup>・土屋一成<sup>4</sup>・浅川晋<sup>1</sup>・木村真人<sup>1</sup> (<sup>1</sup>名古屋大院生命農、<sup>2</sup>愛知県農総試、<sup>3</sup>青森県農林総研、<sup>4</sup>九州沖縄農研)
17. PCR を用いたアブラナ科野菜根こぶ病菌検出法の検討  
○村上弘治・畔柳有希子 (野茶研)
18. 土壌長鎖 DNA の直接抽出法の改良  
○酒井順子、藤井毅 (農環研)
19. クロマトシ生内に生息する内生放線菌  
○片岡良太・谷口武士・二井一禎 (京都大院農)
20. 土壌微生物群集の定量的 T-RFLP 解析：窒素負荷量の異なる土壌について  
○梅津昌史<sup>1</sup>・佐藤嘉則<sup>1</sup>・西澤智康<sup>1</sup>・新美洋<sup>2</sup>・橋本知義<sup>2</sup>・小松崎将一<sup>1</sup>・太田寛行<sup>1</sup> (<sup>1</sup>茨城大農、<sup>2</sup>九州沖縄農研)
21. T-RFLP 解析による土壌微生物群集の評価：ノニルフェノールスルホン酸銅が及ぼす影響  
○安田智昭<sup>1</sup>・梅津昌史<sup>1</sup>・鶴田和人<sup>1</sup>・西澤智康<sup>1</sup>・佐藤嘉則<sup>1</sup>・高原義治<sup>2</sup>・太田寛行<sup>1</sup> (<sup>1</sup>茨城大農、<sup>2</sup>AIST)
22. コンポスト中における好熱性細菌間共存系の分離とその特性  
○出口奈吾・境雅夫 (鹿児島大農)
23. 土壌タイプの異なる圃場におけるヘアリーベッチ根粒菌 *Rhizobium leguminosarum* bv. *viciae* Y629 の接種効果  
○中村結・善本さゆり・金田吉弘・佐藤孝 (秋田県立大生物資源)
24. トマト褐色根腐病の発生と土壌からの病原菌 *Pyrenochaeta lycopersici* の検出  
○関口博之・増中章・竹中重仁 (北農研セ)
25. 陸生ラン藻を用いた荒廃地土壌修復の試み  
○富樫智・犬伏和之・尾花昭平 (千葉大園芸)
26. ホウレンソウ連作圃場における糸状菌群集構造の解析  
○浦嶋泰文・中嶋美幸・菅正 (東北農研)
27. 生物防除微生物 *Pythium oligandrum* を用いたトマト青枯病の発病抑制効果  
○前田征之<sup>1</sup>・太田沙由理<sup>1</sup>・丸山一成<sup>1</sup>・白鳥豊<sup>1</sup>・竹中重仁<sup>2</sup> (<sup>1</sup>新潟農総研・<sup>2</sup>北農研セ)
28. 脂肪酸施用が茶園土壌の微生物と脱窒活性に及ぼす影響  
○上田里美<sup>1</sup>・廣野祐平<sup>2</sup>・森田明雄<sup>1</sup>・鮫島玲子<sup>1</sup> (<sup>1</sup>静岡大農、<sup>2</sup>野茶研)
29. トマト属植物 *Lycopersicon* spp. 組織および根圏から分離される *Fusarium oxysporum* の分子系統解析  
○稲見圭悟<sup>1</sup>・川部眞登<sup>2</sup>・岡部明子<sup>1</sup>・石川暢子<sup>1</sup>・Tobin. L. Peever<sup>3</sup>・児玉基一朗<sup>4</sup>・寺岡徹<sup>1</sup>・有江力<sup>1</sup> (<sup>1</sup>東京農工大農、<sup>2</sup>理研、<sup>3</sup>ワシントン州大、<sup>4</sup>鳥取大農)
30. 土壌中における大腸菌の生残に及ぼす土壌常在微生物の影響  
呉聖進、上野大介・井上興一・○染谷孝 (佐賀大農)
31. 我が国におけるブドウ根頭がんしゅ病菌の遺伝型とその分布  
○川口章<sup>1</sup>・澤田宏之<sup>2</sup>・一瀬勇規<sup>3</sup> (<sup>1</sup>岡山農試、<sup>2</sup>生物研、<sup>3</sup>岡山大院自然科学)
32. アンモニア菌の窒素利用特性の評価と窒素負荷軽減資材への応用の可能性  
○立石貴浩・佐藤哲哉 (岩手大農)
33. フェノールを用いた連続集積培養系における微生物間相互作用の解析  
○二又裕之、下髪啓太、平石明 (豊橋技科大工)
34. PCR-DGGE による土壌細菌群集解析 —その検出能の評価—  
○森本品、星野 (高田) 裕子 (農環研)
35. 定量 PCR 法による土壌細菌の特異的検出のための条件検討  
澤田宏之<sup>1</sup>・野口雅子<sup>2</sup>・吉田隆延<sup>2</sup>・染谷信孝<sup>2</sup>・○土屋健一<sup>3</sup> (<sup>1</sup>生物研、<sup>2</sup>農環研、<sup>3</sup>九州大院農)
36. 海藻抽出液を用いたジャガイモそうか病種いも伝染防止効果  
○仲川晃生<sup>1</sup>・越智直<sup>1</sup>・東美佐夫<sup>2</sup>・中江康仁<sup>2</sup> (<sup>1</sup>中央農研、<sup>2</sup>奄美市役所)
37. 植物病害を防除する機能性コンポストの生成  
○中崎清彦・鈴木伸章・神谷昌芳 (静岡大工)
38. 土壌に接種した *Pseudomonas putida* からの RNA 抽出と腐植物質除去の検討  
王勇<sup>1</sup>・○小川直人<sup>2</sup>・森本品<sup>1</sup>・藤井毅<sup>1</sup> (<sup>1</sup>農環研、<sup>2</sup>静岡大農)